
迷いと答え

山田 ライフル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷いと答え

【NNコード】

N6463L

【作者名】

山田 ライフル

【あらすじ】

正しい事を模索しながら、最後までその答えが分からぬ人間の本質を書いて見ました。

少しややこしいですが、意味をひろって頂けたら幸いだと思います。

4人の親友が共に戦うため
徴兵に志願し、戦場に出た。

戦場でそのうちの一人が病気になつた。
3人は病の男の今後を憂い、苦しまぬ様、男を殺した。

病の男は苦しみから解放され、
3人は一生拭いきれない罪を背負つた。
3人は、また敵と戦う日々をすごした。

また一人が病気になつた。

2人は、病気の男の今後を憂いたが、以前の辛さに耐え切れず
今度は2人で守り通すことにした。

2人は病気の男を守るため戦い、敵の凶刃に倒れた。

病気の男は1人残され、自分の為に2人の親友を犠牲にすることになつた。

その後、病気の男は敵に介抱されながら息を引き取ることになつた。

4人の友人は、あの世で再び出会う事となつた。
4人は手をつなぎ合い、
たがいに「すまなかつた、ありがとう」と涙を流した。

神様は問う。

なにゆえ、悲しみ感謝するのかと。

4人は答えた。

私が死んだことは構わない。

しかし、友が私の為に苦しんだ事がなによりも悲しく有難いのだと。

おわり

(後書き)

感想がいただけたら、大変光栄です。『面倒とは思われますが、
よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6463/>

迷いと答え

2011年1月19日23時59分発行